

乾材法による効果の実態は何か？

(気乾による落葉松の煮解効果に就て)

九州大学農学部 西田 屹 二 渡部 常 樹

Kitji Nisida, Tuneki Watabe: *What is the real effect of "Seasoning"?*
— *On the effect of seasoning in sulfite digestion with Larix Kaempferi*
Sarg —

樹脂材を貯蔵しに積んで比較的長期間乾燥することは相当に古くから実施せられて来つて
いる処である。これをシーズニング (Seasoning) (乾材法、乾燥、乾枯、枯ラシと訳さ
れ、大氣中に晒露に曝らすか放置乾燥する乾燥又は熟乾も広義の乾枯であり、更に熱乾又
は乾焚も乾材法の一種である) と稱し、そのおらいとする処は樹脂中の所謂樹脂分 (pitch
pine) の障害 (Trouble) を少くして製業工程中に於ける樹脂障害の除去乃至は輕
減と製法の向上を図るためであることは、従来より一般に容認せられている処である。而
してこの pitch trouble はパルス、紙、及人造紙工業に就いては随時随処に惹起され、之
が対策に就いては既に幾多の提案があるが、完全なるものは少く、樹脂障害の内容は極めて
複雑多岐で未だ明確でないものが頗る多い。この対策の一途たる乾材法の煮解の面に於ける
効果に就ても詳細なる研究は甚だしい。筆者らは亜硫酸煮解の最も困難な材落葉松を
試料として、気乾の迅速化と実験上の便宜の爲め、剥皮白心、辺材別に全部木粉状のもの
として、気乾の反ばす (1) 木粉組成成分含有量の变化 (2) 同一條件下の煮解試験 (3) 樹脂分
の变化 (4) リクエニンの变化 (5) パルス中の纖維素の变化 (6) 多糖類の初期選選に於ける煮
解率の变化等を追究したので、該結果より落葉松に反ばす気乾の効果の実態を検討し、
従来のシーズニングの効果の概念に新なる面を寄与せんとしたのである。その結果を要す
れば、乾材法の煮解効果はたゞ事に所謂樹脂分が減少乃至は及ぼすことのために及解が
容易となり、従つてパルス中の樹脂分量も少くなり、殊に漸行の製業工程に於ける樹脂障
害も輕減され、製法の收量、品質等も向上して効果的なりとの従来の見解が妥当なるの并
ならず、気乾の効果の他の面として、気乾により纖維素の性質に变化が生じたり、リクエニン、
多糖類等の性質にも变化が惹起されたるための煮解効果の面も存在するもの如く考えられ
る。